

4割が売上増加見込む

震災後の代理店経営調査

ブレインマークスはこのほど、代理店関係者を対象とした代理店経営環境調査『震災後の保険代理店経営環境調査』を実施し、結果を公表した。

このアンケートは、東日本大震災が代理店の経営に及ぼしている影響などを調査し、その結果を広く公開することにより、代理店の経営計画の見直しや業界の活性化のための情報・基礎データとして活用してもらうことを目的として実施した。

調査概要

調査期間

6月7日～19日

調査方法

インターネット調査

調査対象

保険代理店関係者(保険会社含まず)

有効回答数

78人

調査結果

(2011年上期の売上見込み)

①増加 31人 (39.7%)

・震災の影響

15人 (19.2%)

・他要因 16人 (20.5%)

②減少 18人 (23.1%)

・震災の影響

10人 (12.8%)

・他要因 8人 (10.3%)

③横ばい 29人 (37.2%)

(回答者の声(一部))

▽増加(震災の影響)

火災保険と付随する地震保険のニーズが高まっている(大分県・代表者・男性)

▽増加(他要因)

提携先の増加とM&A(神奈川県・代表者・男性)

▽減少(震災の影響)

自動車や住宅の減失解約や失効が相次いだ(宮城県・役員・男性)

▽減少(他要因)

取引先の倒産などによる保険料の減少(北海道・役員・男性)